

第2学年 美術科 1年間の学習と評価について

春日部市立豊春中学校

1. 学習目標

【デザイン・工芸】

- ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができる。
- ・伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、伝達の効能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ることができる。

【絵画】対象や事象を深く見つめ、感じ取ったことや考えたこと、夢・感情などの心の世界などを基に主題を生み出して構成を練り、心豊かに表現することができる。

【鑑賞】さまざまな作品を鑑賞する中で作品の創造的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。

2. 年間の授業計画と学習のねらい

期	学習内容	学習のねらい
1 学 期	《絵画》 手のひらからあふれる思い2	・自分が夢中になっていること、思っていること、心の中の世界などを基に主題を生み出し表現することができる。 ・画面構成をよく考え、作品から自分の思いが伝わるよう工夫する。
2 学 期	《工芸・デザイン》 発泡発砲スチロールを使って 立体作品を作ろう	・昆虫や海の生物をよく観察し、立体的にとらえ、作品を作ることができる。 ・道具を使いこなし、自分の思い通りに形を削り出すことができる。 ・装飾を工夫し、オリジナリティあふれる作品を生み出すことができる。
3 学 期	《絵画》 空想画を描こう	・国内外の様々な作品を鑑賞し、その作品の良さや独自性を見つけ出し、作品を制作する際の参考にする。 ・自分の心の中を深く見つめ、表現したいことやその表現方法を工夫して描くことができる。

3. 評価の観点と方法

《美術についての知識、鑑賞・創造的表現の技能》

- ・アイデアを十分に練り、自分のイメージに基づき表現することができるか。
- ・根気強く丁寧に仕上げているか。
- ・様々な作品から発想のよさや表現の工夫を感じ取る事が出来るか。
- ・他者の作品と比較し、自分の作品について考えるか。

■評価の方法：①作品、②自己評価シート・鑑賞シートの記録、③レポートの内容 を中心に見ていきます。

《創造的表現に関する思考力・表現力・判断力》

- ・イメージをふくらませ、発想豊かでオリジナリティのある作品を考案することができるか。

■評価の方法：作品 を中心に見ていきます。

《主体的に美術についての学習に取り組む態度》

- ・ルールを守り授業に参加しているか。
- ・クロッキー帳・プリントをしっかりと記入しているか。
- ・題材を理解し、積極的に授業に参加しようとしているか。

■評価の方法：①クロッキー帳・プリントへの記入 ②作品・提出物の期限を守っているか ③忘れ物をしていないか ④ルールを守り授業に集中して取り組んでいるか を中心に見ていきます。